

2013年度 一般社団法人西宮青年会議所
拡大研修委員会活動報告書

委員長 市川 裕子

【2013年度事業概要】

1. 9月度例会の開催

- ・テーマ：臨床美術～五感をフルに使って脳を鍛える～

開催日時：平成 25年 9月 24日（火曜日）

開催場所：ノボテル甲子園 西の間

講師：木野内 美里氏

主旨：臨床美術のプログラムを通して、普段とは違ったものの見方で作業をし、五感をフルに使うことで、脳を活性化し、限られた価値観に縛られずに自由に自分の感情を表現し、作品を作り上げていただきました。

また、結果だけではなく、そのプロセスから生まれる表現力、パフォーマンスとして新たな自分自身を発見し、また作品の鑑賞会を行い仲間と共有することで、チームとしての柔軟性や協調性を高める事につなげました。

会員各自における社会や仕事、そして家庭に対する新たなこころの視野の獲得は勿論のこと、自己の価値観や感覚を転換し捉え直し、各々の「人間力の成長」を促すことで、西宮青年会議所活動において、より幅のある活動となる一助とする機会といたしました。

2. 会員研修の実施

- ①テーマ：新たなビジネスの可能性！～目からうろこのFB活用術～

開催日時：平成 25年 4月 9日（火曜日）

開催場所：西宮市民交流センター

講師：中嶋 茂夫氏

主旨：SNSをすでに使用している人も、していない人も、ビジネスに活用できる可能性を認識していただきSNSの利用によって新たなチャンスを掴もうという意識改革を行いました。また、SNS利用の幅広い用途の中で、中小企業や中小規模の団体で何にポイントをおいて活用していくのかを自社に落とし込んでいく事で、仲間内で使用しているSNSを具体的にビジネスに活かしてさらなる発展の機会として頂きました。また、ビジネスの機会にとどまらず、SNSを利用して、西宮青年会議所の活動内容をより多くの方に知って頂き、一人でも多くの夢を共有する仲間を増やすツールとしても利用して頂く事を目的としました。

- ②テーマ：自衛隊第36普通科連隊第一中隊長講話及び隊内生活体験

開催日時：平成 25年 6月 1日（土曜日）6月2日（日曜日）

開催場所：伊丹駐屯地

講師：第一中隊長 三等陸佐 中村 康男 氏

主旨：慣れ親しんだ環境から一度離れ、非日常的な規律ある生活を体感していただく事で、一人一人の規律意識を高めてもらいました。また、メンバーと寝食を共にしていただく中で、連帯感や協調性の大切さを学んでいただきました。そして、過酷な災害現場等でチームで活躍する自衛隊員の経験や知識を見聞きし、ユニットリーダーである中隊長のリーダーシップ論に触れ、今後の青年会議所活動や企業活動に役立てて頂く機会といたしました。

3. JCI公式コース及び日本JC公認プログラムの参加推進に関する業務

4. 6月度新会員育成会議における研修等の実施

- ・テーマ：VMVセミナー

開催日時：平成 25年 6月 19日（水曜日）

開催場所：J Cルーム

主 旨：新会員がJCは何をしたらいいのか良く考え、自分達の運動の方向性を探ることを目的としました。

5. 3分間スピーチの実施

6. 会員拡大に関する業務(7名の新会員入会)

【一年間を振り返って】

予定者段階に思い描いていた委員会事業方針を全うできた一年だったと思います。意思を貫くというのは簡単ではなく、FBセミナーや自衛隊体験入隊も半ばやらない方がよいのではないかと思う事が度々ありました。特に9月例会の実施に至るまでは山あり谷ありで、直前まで何度も変更した方がよいのではと思い悩みました。

その時に後押しし、支えてくれたのは委員会メンバーでした。

何度も会議で悩み、検証し、最後は委員長の思う通りにやればよい。僕らは着いていきますという一言が、迷いを取り除き、事業の実現につながったと痛感しています。

委員長としては委員会メンバー一人一人の能力を最大限に引き出しきれなかった事や楽しく委員会が設営出来たのか心残りの部分もありますが、年の初めにみんなで考えた「楽縁」(この縁を大切にしてみんなで楽しくしていこう)という初心は忘れずに、2013年度この委員会が終わってそれぞれが違う委員会に配属されてもこの縁は大切にしていこうと思います。

最初はJCメンバーにこうポジティブチェンジしてほしい、こうあるべきだという思いで研修を提案してきたつもりでしたが、自分自身にとっても研修の設営を通して多くの気づきと物の見方が変わった実りある一年だったと思います。

最後に事業に参加していただいたメンバーや陰ながら支えていただいた多くの皆様に感謝いたします。一年間本当にありがとうございました。

活動報告

委員会	15	回開催
スタッフ会議	15	回開催